

CONTENTS

トップメッセージ 02

住友重機械グループの概要 03

住友重機械グループと社会とのかかわり 05

HIGHLIGHTS 07

環境への取り組み

住友重機械グループ 第4次環境中期計画 09

環境マネジメントシステム 11

環境目標(中期計画)と実績 12

地球温暖化防止活動 14

循環型社会指向の活動 16

化学物質管理活動 17

海外工場における環境管理活動 18

環境負荷データ 21

社会とのかかわり

社会貢献活動 27

編集方針

本報告書は、住友重機械グループの環境活動、社会貢献活動に関する取り組みや考え方をまとめ、ステークホルダーの皆様にご報告するものです。
 第3次環境中期計画(2011~2013年度)が終了し、新たに第4次環境中期計画(2014~2016年度)をスタートさせました。
 第4次環境中期計画の概要をご理解いただくため、平易で簡潔な表現に努めるとともに、グラフやイラスト、写真を多用し読みやすさを心がけました。
 なお、本報告書の発行に当たっては、環境省の「環境報告ガイドライン(2012年度版)」および「環境会計ガイドライン(2005年度版)」を参考にしています。

対象範囲

住友重機械工業株式会社およびグループ会社を報告対象にしています。

対象期間

2014年4月1日~2015年3月31日

発行時期

前回:2014年8月
 今回:2015年10月
 次回:2016年8月

免責事項

本報告書には、住友重機械グループの過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらの計画・見通し・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が記述内容と異なったものになる可能性があります。
 また、データは過去に遡って精査することにより、過去の環境・社会報告書の数値と異なっている場合があります。

「住友の事業精神」に基づき、持続可能な社会の実現に貢献する一流商品とサービスを提供していきます

ステークホルダーの皆様には、日頃より当社グループの企業活動にご理解とご支援をいただきお礼を申し上げます。

当社グループは、昨年度から中期経営計画2016(2014~2016年度)をスタートさせており、本年度は2年目になります。中期経営計画2016の経営戦略は、

- 持続的成長の基盤を構築するための「着実な成長」
- 「高収益への反転」
- 「たゆみなき業務品質改善」

を目標に掲げ、「一流商品を提供し続ける企業」を目指します。

「たゆみなき業務品質の改善」の一つに、コンプライアンスがあります。

私は、コンプライアンスとは法令はもとより、社内規程や社会規範に従うだけでは不十分で、更にそれらの背景にある社会的要請に応えることだと捉えています。そのために本年度は、

- 原点に立ち返り、業務品質改善に真摯に取り組むこと
- 地道な活動により社員一丸となって改善ムーブメントを進めること

をテーマとして掲げ、活動しています。

当社グループを含めた企業への社会的要請は刻々と変化していますが、当社グループが、従来より取り組んできた地球温暖化防止をはじめとする環境活動は、常に重要な社会的要請の一つであり、「住友の事業精神」に合うものです。

中期経営計画2016に基づき、昨年度から第4次環境中期計画(2014~2016年度)をスタートさせました。第4次環境中期計画は、

- 環境リスクマネジメントの推進
- 低炭素社会に貢献
- 資源循環型社会を実現
- 地域貢献/生物多様性への取り組み

を基本方針としており、海外グループ会社を含めた環境活動をより一層推進させます。

私自身が環境活動の重要性に強い認識を持ち、各事業部・グループ会社のトップをはじめ、当社グループ全員へ真摯に、地道に、具体的な展開を図ります。

この展開で最も重きを置くのは、各事業部・グループ会社が第4次環境中期計画の目標を達成するための自律的な活動です。

そして、各事業部、各グループ会社を担っている社員一人一人が活発で率直な議論を通じて、社員一人ひとりがお互いに謙虚に学びあいながら環境活動に取り組むことだと考えています。

当社グループは、今後ともステークホルダーの皆様の声に真摯に耳を傾け、停滞することなく常に自らを変革しながら、目標を着実に実現していきます。

皆様のご意見ご助言を賜り、今後の取り組みへの参考にさせていただければ幸いです。



代表取締役社長

別川 俊介